令和2年度 事務事業総点検シート(1) [令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	スポーツ施設情報システ	テム運営	事業				シート番号	008-016
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ施設	課	評価責任者(課長名)	清水

≪ I. 基本情報≫

		堺市マスタープランの政策体 系に基づく事業の位置付け	政策	策 2 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します							
		从1-至5人生火沙区区1177	施策	4	スポーツと健康づくりの推済	- にポーツと健康づくりの推進					
#	2	事業開始年度		平成 8 年度 終了(予定)年度 —							
基本情報	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	スポーツ	基本法							
報	4	関連計画	第2次堺市	2次堺市スポーツ推進計画							
	5	事業実施の経緯			、本市と府内自治体が連携 より行うサービスシステムを	して、体育館等スポーツ施記 導入。	设の利用申込・利用料管	理・口座振替な			

≪Ⅱ.事業概要≫

	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)		本庁		各区		出先機	関	()		市外郭団	体	
	0			地域区	団体・	市民		□ 民間	企業	NPO		□ そ	の他	. (•)
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としている のか)	施	設利用	者																	
	8	事業の目的 (どのような状況にしたい のか)	市民の利便性を向上するとともに、施設利用者の増加を図る。																			
事業概要	9	事業内容 (スケジュール、実施方 法・手段、事業ボリューム など)	行	話・インう情報シ	ステ	ムを運	用す					·選·利 浦助金			- 続並び 急担金	に利り	金収を		ムに	よる支払処	<u>1</u> 理を	·
	10	直接実施以外の主な支出先	1	託業者			1.47					//		- -			 - 10					

«	Ш.	投	≿入量≫		平成2	9年度	平成3	0年度	令和え	元年度	令和2年度		
		項 目 単位			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算		
		事	業費(a)	千円	19,024	16,396	17,665	16,570	22,064	24,128	18,491		
		主	スポーツ施設情報システム使用料	千円	10,278	8,953	9,360	9,360 8,953 9,036		9,036	9,132		
		<mark>な</mark> 事 その他		千円	8,746	7,443	8,305	7,617	13,028	15,092	9,359		
		*費内		千円									
事業	11	訳		千円									
\neg			国•府支出金	千円									
スト		財	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円									
		M	市債	千円									
		訳	<mark>訳</mark> その他()										
			一般財源	千円	19,024	16,396	17,665	16,570	22,064	24,128	18,491		
	12	人	件費(b)	千円	3,770	3,770	3,795	3,795	4,330	4,410	4,750		
	13	総コスト(c)=(a)+(b) +FE		千円	22,794	20,166	21,460	20,365	26,394	28,538	23,241		

事務事業名

スポーツ施設情報システム運営事業

シート番号

008-016

≪Ⅳ. 評価 (測定・分析)≫ ロジックモデルの考え方

活動(アクティビティ)
問題に対処するための
具体的活動

因果関係

活動結果(アウトプット) 活動が実施されたこと を示す事実

因果関係

成果(アウトカム) 期待される変化

目的の達成に寄与

[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

	木り	り活動美積や成果									
					令和元年度実績						
活動実績	14 原池公園野球場の供用開始に伴い、リース料及びASP利用料が微増した。										
積レ		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
と成		システム登録者数		目標値 38,000 40,000		42,000	44,000				
果	15		人	実績値	39,409	40,951	42,610				
	15			達成率	104%	102%	101%				
				評価	良い	良い	良い				
		算出方法・設定根拠など	登録者	数は、施設	利用者数に概ね比例で	すると考えられるため。					
		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
				目標値	900,000	900,000	900,000	720,000			
		シフテル利用体物	件	実績値	858,889	865,063	836,077				
	16	システム利用件数	11	達成率	95%	96%	93%				
						普通					
				ロナウイル	選申込・空き利用申請 ス感染症防止対策によ			し、令和2年度の目標			

事業の効率性

• ;	長い	リメリタ	严]生							
			×	分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
		1	登	録者数	人	39,409	40,951	42,610		
١	17	2	上記①にた	かる年間経費	千円	20,166	20,365	28,538		
	ĺ	3	単位当たり経費	(②÷①×1,000円)	円/単位	512	512 497			
	Ī	備考	(算出についての説明等)							
Ī			×	分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
		1	利	用件数	件	858,889	858,889 865,063			
١	18	2	上記①にた	かる年間経費	千円	20,166	20,365	28,538		
	ĺ	3	単位当たり経費	(②÷①×1,000円)	円/単位	24	34			
	Ī	備考	(算出についての説明等)		_					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

19 登録者数については、目標を達成しており、利用者の利便性を確保した。 利用件数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、スポーツ施設の利用そのものが減少したため、例年より件数が低くなっている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に 問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- O RPA等をはじめとするICTを活用 する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の 選定など、戦略的な広報ができ ていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名 スポーツ施設情報システム運営事業 008-016 シート番号

≪Ⅴ. 点検≫

- <点検の前提> 〇新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

\circ	~— · F		<i></i>		+するもの ⇒		<i></i> ■ 確認		
	Ė	.品・本人の前を1を目を	事業廃止の可能性	(1)	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体	的な			
	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	□ 廃止できる ■ 廃止できない	Π-	ノターネットでスポーツ施設の予約ができなくなることでの現金払いになることで、利便性が著しく低下し、、利用料金の減収となる。	_ や利	用料金が窓		
		(20で廃止できるを選択しな	事業休止の可能性	休	止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休	(止の:	場合の再開時期		
	21	かった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業 を休止(延期)できないか。	□ 休止(延期)できる	利力	用料金の支払いまで、施設利用に関する一連の 続きを行うシステムであり、途中での休止ができ] 令	和2年度中和3年度		
		を外土(延朔)できないが。	■ 休止(延期)できない				和4年度以降		
			コストの縮減	ì	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない	場合	はその埋田		
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) かった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模 を縮小するなど、コスト縮減を	□ 一部廃止しコスト縮減できる□ 一部休止しコスト縮減できる□ 規模等を縮小しコスト縮減できる		阪府及び府内19自治体が共同調達しているシス ケールメリットを活かしてコスト縮減を図っている				
コロナ禍		図ることができないか。	□ 事業手法等を改善しコスト縮減できる■ 縮減できない						
を		(20で廃止できるを選択しな	事業手法の適切性		改善する場合は改善策、その他は野	甲由			
踏		かった場合) 社会経済活動の維持・回復の ほか、3密を避けるなどの市 民や民間の活動変容への対 応に向け、実施手法を改善す る必要がないか。			ALL YOU WE LONG THE CONTROL OF THE C				
まえた点検	23		□ 改善する必要がある □ 改善する必要がない ■ 既に対応できている	い	ポーツ施設の空き状況の検索から抽選、予約、 まで、施設利用に関する一連の手続きを行うイン ニシステムであるため。				
<u>~</u>			か用め、効束のた事業字体/以下の知とで、小羊で	+ 7 ((または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合)	<u> </u>	ナハ担合け口)		
必要性			□ 公民連携の推進	9 6 (スペースのグログ/物目の単、外日マのV、以日小心が"物目でロゼ/物目はログ				
・有効		(20で廃止できるを選択しな	② ■ ICT活用による効率化 他部局との適切な連携・役割分担		(ICT活用による効率化) スポーツ施設の空き状況の検索から抽選、予約、利用料金の 理 払いまで、施設利用に関する一連の手続きを行うインターネ・ 由 を活用したシステムである。 ・ (国・府等との適切な役割分担・連携)				
性		かった場合) 効果的・効率的な事業の実施	③ □ 関係部署名()	垤					
効率		に向け、右に掲げる視点から 改善できないか。	関連事業名 ()		大阪府及び府内19自治体が共同調達している				
性()			④ ■ 国・府等との適切な役割分担・連携		(他政令市等との比較におけるサービス水準の 大阪府や大阪市等の府内自治体と同水準のサ ている。)均() ナービ	_{T)} えを提供し		
			⑤ ■ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡⑥ □ その他()						
			事業の方向性				実施年度		
			デネックル は			#	大肥十茂		
				小	□ 改善して継続 ■ 現状を継続 □ 事業を拡充	╝			
			公金投入の方向性				令和3年度		
			□ ゼロ □ 縮小	-	現状維持 口 拡大		令和4年度以降		
	25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	所 施設利用に関する一連の手続きを行 市内35施設)を堺市民がインターネッ	ーツ!	施設の空き状況の検索から抽選、予約、利用料 ステムである。大阪府及び府内19市町村のスオ 通じて利用できる本システムの運用に引き続き	金の ポーツ 参画	支払いまで、 /施設(うち堺 する。		